

やっぱり、大好き！

＜今月の聖句＞

あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。
(ルカによる福音書 10章 27～28節)

お祈りかなった雨上がり。明け方はひんやりとして、きょう川は無理かも
とっていた、10月5日年長キャンプ。しかし…
現地に着いて、秋の陽にきらきら輝く浅瀬の水面を見た途端
子どもたちは何の迷いもなく、ずんずんずん、気がつけば川の真ん中。
お揃いのTシャツで「見て、温泉！」と、「湯加減」を楽しむ子たちや
水中から突然ジャンプし対岸の崖を駆け上がる「くノ一忍者」
川底に「石器時代の矢じり」を発見する考古学者も登場。
ゆるやかな川の流れの中に、それぞれの物語が織り重なっていく。
ひとしきり水と戯れ遊んだ後は、「あ～、おなかすいた」。
愛情こもった色とりどりのお弁当を互いに楽しみながら、ほっこり。

午後は思い出写真の額縁作り

ボンドが乾くまでの間、なにしよう。あ、遠く向こうにきれいなお花。
行ってみよう！ みんなで手を繋いで、お散歩タイム。
さっきまで他園が芋ほり体験していた場所の隣にあったのが
ピンクやオレンジ、エンジ色に揺れる、背高のっぼのコスモスの群れ。
落ちていた一枚の花びらをだれかが、ひらりと用水路に落とすと
さらさらさら、どこまでも、辺りを暖色に染めながら流れていく。
やがて、次から次と、コスモス色の舟下り大会が始まった。
通りかかったお芋畑のおじさんが「さっき川遊びしてた子どもたちだね。
今日、川に入ったのは君たちだけだよ。すごいね」とほめてくれた。

楽しかったキャンプ場を離れる時、たった独り、しょんぼりしてる子がいる。
「どうしたの？」と聞くと、「あ～、残念だなあ」と顔をふせる。
「そう、キャンプが終わるのがさびしいの？」「ううん、違う」
「きょう、つくし保育園で遊べなかったのが、さびしいの。」
こんな素晴らしい子たちに支えられて、僕たちは保育ができるんだと
神さまに感謝する、そんな、2022秋のキャンプでした。

(つくし保育園園長 つだかずお)

＜礼拝のご案内＞ 今年も楽しく 収穫感謝の礼拝

11月27日(日) あさ10時30分 だいで教会
つくし保育園お庭のチャペルの礼拝堂、ご家族と一緒に、焼き芋大会も